



みのり通信

第34号

発行 令和 8年 7月 13日
特定非営利活動法人みのり福祉会
〒285-0862
千葉県佐倉市新臼井田8-3
TEL・FAX 043-462-6424

ごあいさつ

会報は、ホームページ <<https://www.minoriwelfare.com/>>に掲載してあります。



理事長 立田 芳弘



紫陽花の花が満開になりました。

会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか？

早いもので、みのり福祉会が誕生して17年目を迎えました。開設当初、障がいのある方が地域の中で「様々な福祉サービスが利用できるように」と又、親亡き後のことを考え「安心して生活ができるように」を合言葉に事業展開を行ってきました。

現在は、グループホームを6ヵ所（サテライトを含む）就労支援事業所2ヵ所（ピース・青空協同組合）放課後等デイサービス・児童発達支援事業所3ヵ所（ひまわり・くろーばー・そら）相談支援事業所1ヵ所（らしんばん）居宅介護事業所1ヵ所（ルート）を運営しています。

これも皆様方のご支援の賜物と感謝しております。

現在の障害福祉の動向はといえば厚生労働省の検討チームが令和9年度の障害福祉サービス等報酬改定に向けて、様々な関係団体（53団体）からヒアリングを行っている最中であり、それによって次の障害福祉サービスの報酬が決まってきます。

事業所を運営する側にとって一番の関心事は、物価高騰に応じた報酬の増額と他産業と遜色のない賃上げ、人材不足を補うためのテクノロジーの導入支援などであり、令和8年度の改定でも応急的な対策が講じられましたが、充実されたとはいえません。障害福祉サービスの予算額が障害者自立支援法（2006年4月）が始まってから4倍以上に増えてきていますが、本当にサービスの質が上がったのでしょうか？制度趣旨に沿わない加算を算定する事業所が増えてきていることで予算が増えてきているのでしょうか？原因は何なのか探ることが急務ではないのでしょうか？残念ながら、また障がいのある方の虐待も減っていません。一生懸命やっている事業所も多いと思いますが、一部の事業所がそういうことをやっているという一般の方は障害福祉サービス事業所は全部そのようなことをやっているのかと判断されてしまいます。

もう一度、気持ちを引き締めてやらなければならないと思います。マイナスからのスタートはプラスになるためには倍以上の力を注がなければなりません。まだまだ障がいのある方の暮らしには不安を感じる方を多く思うと思います。日々の支援を大事にして障がいのある方、その方を取り巻く方のサポーターとして、みのり福祉会が選ばれるような



法人、事業所にならなければならないと思います。

今回の会報のテーマは「仕事をしていくうえで大事にしていること」です。職員の方がどのようなことを考えているか一読して頂ければと思います。

今年度も、よろしくお願いいたします。



§ 地域連携推進会議を行いました §

地域連携推進会議？耳慣れない言葉ですが、グループホームを運営する事業所は、令和7年度より「地域連携推進会議」を設置して年1回の会議を開催することが義務化されました。

運営が閉鎖的にならないように地域の方の目を入れ、見える化を図ることが目的です。

みのり福祉会では、4月26日（日）にみのりほーむ栗山で、DVD（グループホームの生活の様子）の視聴と見学、意見交換を行いました。



委員の皆様ありがとうございました。

仕事をしていくうえで大事にしていること



児童デイサービス ひまわり



畑山雅子

筒井千絢

児童での仕事をしているうえで大事にしている事は「この子の何年後のためにの今日」です。

1人1人に特性があり高等部卒業までという期間のなか、ひまわりで繰り返し行っていた活動や色々な経験が卒業してからの長い人生で本人の生活のなかに生きていくことを願いながら子ども達と共に過ごしています。

また、活動のなかでは常に笑顔で楽しくも大切にしています。

それを実現していくために必要な事として職員間の連携やチームワークも欠かせないものになると思います。

日々の支援で気付けたことや改善していきたいことなどを会話や会議で出し合えるような雰囲気作りも心掛けたい所です。

そして、それを実現するには職員個々の健康も大切になります。体もそうですが心の健康も見落とせません。自分が心身共に健康であるには何が大切なのか…そう考えると全てのことは一つにつながっているんだなと思います。仕事をしていくうえで大事にしていることに向かって自分も周りも大切にこれからを過ごしていこうと考えさせられました。



私が、仕事をしていくうえで大事にしていることは、子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添うことです。誰しも、喜怒哀楽の4つの感情があります。楽しい感情、嬉しい感情の他に、怒りの感情、悲しい感情。これらの感情が子どもから出たときに、気持ちに寄り添うことで、子どもは「気持ちをわかろうとしてくれるんだ」「味方でいてくれるんだ」と感じ、精神的な安定にも繋がると思っています。楽しい事、嬉しい事には共感しやすいですが、困る行動にはどうしてもこちらも怒りの感情が出てしまいます。恥ずかしながら常に出来ているわけではないですし、危険なことはすぐに声をあげて止めているのですが、そうでないときは子どものする行動の背景には必ずそうさせる理由があると考えた上で、頭ごなしに叱るのではなく、まずは落ち着いたトーンで「どうしたの?」「なにがあったの?」と聞き、発語のある子どもには話しやすい雰囲気づくりをし、発語のない子どもにも「どうしたの?」と声を掛けた上で「〇〇が嫌だったかな」「〇〇だったね」などと話しかけ、気持ちを代弁するような声掛けを心掛けています。子どもにとって安心できる大人になれるように、日頃から子どもたち一人ひとりの表情や雰囲気、声色などに注目して普段と変わったところはないか。普段よりも落ち着かないであればなぜ落ち着かないのか。その背景を探り「〇〇をして頑張ったんだね」「〇〇して偉かったね」

などと声を掛けるようにしています。

実は、仕事に関係なくプライベートで大事にしていることでもあります。



人それぞれの考え方、感じ方や捉え方があると思っていますので、自分にはない考えがあっても「この人はこう感じたんだ」「この人はこういう考え方なんだな」と捉えるようにしています。自分にはない考えを受け入れるのはすぐにはできないかもしれませんが、少し考え方を変わると、また違った見方ができるので面白いですよ。

(3月末 退職)



仕事をしていくうえで大事にしていること



相談支援事業所 らしんばん

菅原輝代

心がけたいと思っていることがいくつかあります。
まず、話を丁寧に聴くことです。

「どうしたいと思っているか」「何に困っているのか」「どんな気持ちでいるのか」を否定せずに受けとめたいと思います。その方の表情、声のトーン、沈黙、話題の避け方など言葉にならないサインにも出来るだけ、気を配っていくようにしています。辛いことばかりではなく、強みや出来ていることもあると思いますので、一緒に整理し考えながら、解決策をご自身で選べるようにしていけるようにするのが理想だと思います。

自分自身の心の安定も大事だと思っています。余裕があるか感情が引っ張られていないかをふりかえり、危険だと思うときには一呼吸おくことでよりよい支援につながると思います。共感し思いに寄り添うことは心がけますが、抱え込まず並走というスタンスで支援していきたいと思っています。

施設や支援スタッフさんとも良好な関係を保ち、協力を得ることも大事なことです。人とつながっていることで独りよがりにならず、いろいろな見方が出来ると思っています。耳にも心にもアンテナを張ることを意識し、新しい情報を得ながら自信を持てるようにしていきたいです。

また、何よりもこの仕事にやりがいを感じ、続けていきたいです。



居宅介護・移動支援 ルート

高橋淳一

長く福祉にかかわっていると、意識せずに仕事をしていることが多いものです。

“仕事で大事にしていることは？”と問われ、思いつくままにあげてみると、いろいろありました。

その中で、障害者の人権の尊重については、いちばん意識して行っている事です。

昨今では虐待防止法により人権を守っていくことが進んでいます。身体的虐待（暴力、暴言）・心理的虐待（呼び捨て、ちゃん呼び）を予防することで障害者の人権が守られつつありますが、人権について本当に理解していくには時間がかかります。一人で頑張るだけでなく、職員間で議論しながら理解していくことが必要ではないでしょうか。

私にとっての人権の理解は、入所施設に勤めていたころに全職員で話し合いながら2年かけて作った「倫理綱領及び行動規範」にあります。

そのおかげで、福祉の変化の中で、指導・訓練から支援に移った時でも、望む形になったことに安堵し、虐待防止法ができたときもスムーズに受け入れることができたことがありました。

私自身に刷り込まれたものが、私を助けてくれています。「倫理綱領及び行動規範」をこれからも意識しながら、新しいものも取り入れて、支援に当たっていきたいと思っています。

(3月末 退職)



エビパデ。ヨツカイドウ
第35回
四街道ふるさとまつり

charity t-shirts
2,500yen

四街道市×市内障がい者団体のコラボ！チャリティTシャツ
チャリティTシャツを着てふるさとまつりを一緒に盛り上げましょう！
〔売り上げのうち1枚300円は各障がい者団体に寄付されます。〕

1 white (白地に黒) 2 red (白地に赤) 3 black (黒地に白)

今年のテーマは「輝」

「輝き」
「一本の線にその人が映れる」。今回あらためて1人1人の輝きを目にした時に「その人らしさ」を感じる事ができました。あらゆる「輝」が交差し、輝きながら歩みを進める姿は、まるで人と人との出会いのようでした。このTシャツを通して、色々な人と出会い、人と人との繋がりが生まれるように。今年の「ピースの輝き」を感じていただけたら嬉しいです。
NPO法人みのり福祉会 障がい者就労・生活さばーとピース

購入方法
①四街道市役所 火 金 11:30-13:00に販売中
手づくり弁当や焼き菓子、野菜など販売中！
②ピースで購入
ピースにお電話、またはメールでお問い合わせください。
TEL 043-424-1004 E-mail: peace@ma.alpha-web.ne.jp
※ピースからの配送は承っておりません。事業所またはみのりカフェまでご来店ください。

協力：NPO法人みのり福祉会 障がい者就労・生活さばーとピース 販売元：四街道ふるさとまつり実行委員会
社会福祉法人よつかいどう福祉会生活介護はちまつ 四街道市障がい者就業 043-421-5106 mail:yymade@city.yotsukaido.chiba.jp

＜ 理事会・総会が開催されました ＞

6月14日(日)に当法人事業所 青空協同組合で総会・理事会が開催されました。

理事会出席者：	理事・監事	6名
総会	： 会 員 総 数	136名
	出 席 者	8名
	委 任 状	3名

議案は令和7年度の事業報告・決算報告、令和8年度事業計画(案)・予算(案)で法人・事業所とも承認されました。最後に会計事務所の方から今後の運営についてアドバイスを頂きました。詳細については、ホームページに掲載します。



理事の

長澤様より

いつも素敵なお花を
ありがとうございます。



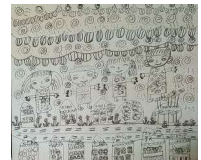
理事の 穴澤様より

はがき200枚いただきました。
ありがとうございました。



四街道市 藤原様より

多額のご寄附をいただきました。
ありがとうございました。



職員について ～新入職員

ピース 滝口 奈緒さん
井出 良子さん

そら 鶴岡 百々音さん
新井 高広さん

くろーばー 菊池 千尋さん
岩井 仁一郎さん

ルート 穴倉 秀世さん

